

Peregrine

# AssetCenter



## 物理データモデル

(c) Copyright 2005 Peregrine Systems, Inc.  
All Rights Reserved.

本書に記載されている情報は、Peregrine Systems, Incorporatedが所有し、Peregrine Systems, Inc.の書面による許可なく使用または開示することはできません。本書の一部または全部を、Peregrine Systems, Inc.の事前の書面による許可なく無断で複製することを禁じます。本書に記載されている商品名は、該当する各社の商標または登録商標です。

Peregrine Systems ®およびAssetCenter ®は、Peregrine Systems, Inc.またはその子会社の商標です。

本書で説明されているソフトウェアは、Peregrine Systems, Inc.とエンドユーザ間で締結されるライセンス契約に基づいて提供されます。契約の条項に従って、ソフトウェアを使用する必要があります。Peregrine Systems, Inc.は、本書の内容については一切の責任を負いかねます。また、本書の内容が予告なく変更されることもあります。本書の最終バージョンの日付を確認するには、Peregrine Systems, Inc.のカスタマサポートまでお問合せください。

デモ用データベースと本書の例に使用されている団体名および個人名は架空のものであり、本ソフトウェアの使用方法を説明するためのものです。現在、過去を問わず、実在する団体や個人とのいかなる類似もまったくの偶然によるものです。

本製品に関する技術情報の請求、またはライセンスをお持ちの製品に関するマニュアル類の請求については、Peregrine Systemsのカスタマサポート (support@peregrine.com) までお寄せください。

本マニュアルに関するご意見やご要望は、Peregrine Systems, Inc.の出版部 (doc\_comments@peregrine.com) までお寄せください。

この版は、使用許諾プログラムのバージョン4.4に適用されます。

AssetCenter

Peregrine Systems, Inc.  
3611 Valley Centre Drive San Diego, CA 92130  
858.481.5000  
Fax 858.481.1751  
www.peregrine.com



# 目次

PEREGRINE

まえがき	5
テーブル	5
リンク	6
1. ポートフォリオ	9
モデル	10
ポートフォリオ品目	11
資産	12
調達循環にリンクされた資産	13
コンピュータ	14
電話機	15
ポートと接続	16
2. 調達循環	17
調達循環	18
購入依頼	19
発注	20
受付	21
請求書	22
返却予定資産	23
3. 契約	25
契約	26

4. ファイナンス . . . . .	27
予算と経費 . . . . .	28
経費付替え . . . . .	29
税金 . . . . .	30
5. ケーブル . . . . .	31
ケーブルとケーブルデバイス . . . . .	32
カラーコード . . . . .	33
ラベル付け規則 . . . . .	34
ペア/導線のタイプ . . . . .	35
ケーブルの用途 . . . . .	36
スロット . . . . .	37
トポロジ . . . . .	38
トポロジグループ . . . . .	39
成端場所設定 . . . . .	40
ケーブルリンク . . . . .	41
6. 管理 . . . . .	43
データベースへのアクセス . . . . .	44



# まえがき

PEREGRINE

このガイドはAssetCenterの物理データモデルについてダイアグラムを用いて説明しています。

これらのダイアグラムには、AssetCenterのモジュールで使用される1つまたは複数のテーブルが含まれます。

---

## テーブル

このガイドで示す各テーブルは、SQL名によって識別されます。

例

- ポートフォリオ品目テーブルのSQL名は「amPortfolio」です。
- 資産テーブルのSQL名は「amAsset」です。
- 場所テーブルのSQL名は「amLocation」です。
- 部署と従業員テーブルのSQL名は「amEmplDept」です。

各ダイアグラムで最も重要なテーブルは一番大きく示しています。

例

- 「資産 [修献2]」ダイアグラムの資産テーブル (amAsset)
- 「ケーブルとケーブルデバイス [修献2]」ダイアグラムのケーブルテーブル (amCable)
- 「税金 [修献0]」ダイアグラムの税金テーブル (amTax)

# リンク

テーブルには、3種類のリンクがあります。

- 「1-1」リンク。
- 「1-n」および「n-1」リンク。
- 「n-n」リンク。

リンクのタイプ	リンクを示す線
1-1	—————
1-n (n-1の逆リンク)	—————<および>—————
n-n	>—————<

このガイドで示す各リンクはそれぞれSQL名で識別されます。


例

- ポートフォリオ品目テーブル ( amPortfolio ) から部署と従業員テーブル ( amEmplDept ) へのリンクのSQL名は User です。
- 部署と従業員テーブル ( amEmplDept ) からポートフォリオ品目テーブル ( amPortfolio ) へのSQL名は ItemsUsed です。

## 注意:

リンクのSQL名はリンクされたテーブルの一方がソーステーブルで、もう一方がターゲットテーブルであることを仮定しています。したがって、ソーステーブル ( amPortfolio ) 間のユーザリンクは、そのリンクがターゲットテーブル ( amEmplDept ) のユーザレコードを指していることを示すことになります。一方で、逆リンクは ItemsUsed と呼ばれます。このリンクはあるユーザが使用する資産のレコードを指します。この場合、ソーステーブルは部署と従業員のテーブルで、ターゲットテーブルはポートフォリオ品目のテーブルになります。

ダイアグラムを複雑にしないようにするため、逆リンクは示しません。リンクと逆リンクのどちらを選択するかは任意です。逆リンクのSQL名について知りたい場合は、次の手順を実行します。

- 1 AssetCenter Database Administratorを起動します。
- 2 データベースの記述ファイルを開きます。
- 3 目的のテーブルを選択します。
- 4  をクリックします。
- 5 リンクを選択します。
- 6 逆リンクのSQL名は逆リンクフィールドに示されます。

## 「1-1」リンク

このタイプのリンクは次を意味します。

- ソーステーブルの1つのレコードはターゲットテーブルの1つのレコードにリンクされています。

例：「[コンピュータ](#) [[参考文献4](#)]」ダイアグラムのコンピュータテーブル (amComputer) と資産テーブル (amAsset) 間の資産リンク。このリンクは1つのコンピュータレコードを1つの資産レコードにリンクできることを示します。

## 「1-n」および「n-1」リンク

「1-n」リンクは次を意味します。

- ソーステーブルの1つのレコードをターゲットテーブルの複数のレコードにリンクできます。
- ターゲットテーブルの複数のレコードをソーステーブルの1つのレコードにリンクできます。

例：「[契約](#) [[参考文献6](#)]」ダイアグラムの契約テーブル (amContracts) と契約賃貸料テーブル (amCntrRent) 間の賃貸料リンク。このリンクは1つの契約レコードを複数の契約賃貸料レコードにリンクできることを示します。

「n-1」リンクは次を意味します。

- ソーステーブルの複数のレコードをターゲットテーブルの1つのレコードにリンクできます。
- ターゲットテーブルの1つのレコードをソーステーブルの複数のレコードにリンクできます。

例：「[モデル](#) [[参考文献0](#)]」ダイアグラムの資産テーブル (amAsset) とモデルテーブル (amModel) 間のモデルリンク。このリンクは複数の資産レコードを1つの同じモデルレコードにリンクできることを示します。

## 「n-n」リンク

このタイプのリンクは次を意味します。

- ソーステーブルの複数のレコードをターゲットテーブルの複数のレコードにリンクできます。

例：「[データベースへのアクセス](#) [[参考文献4](#)]」ダイアグラムのユーザプロファイルテーブル (amProfile) と機能権限テーブル (amFuncRight) 間のFuncRightsリンク。このリンクは1つの資産レコードを複数の機能権限レコードにリンクでき、1つの機能権限レコードを複数のユーザプロファイルレコードにリンクできることを示します。







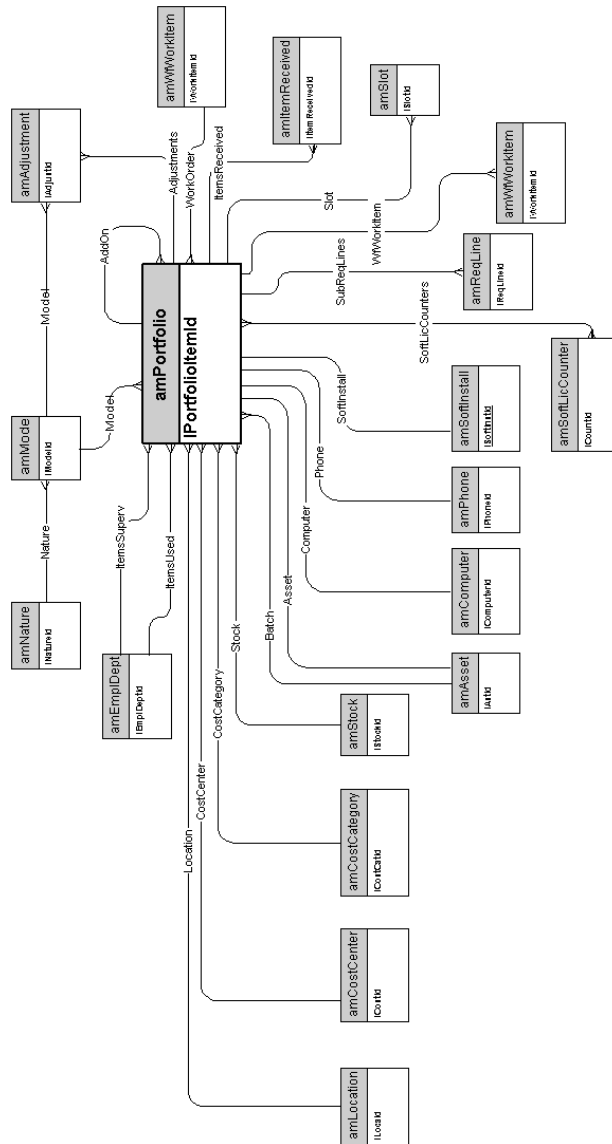
# 1 | ポートフォリオ

この章では次の物理データモデルのダイアグラムを示します。

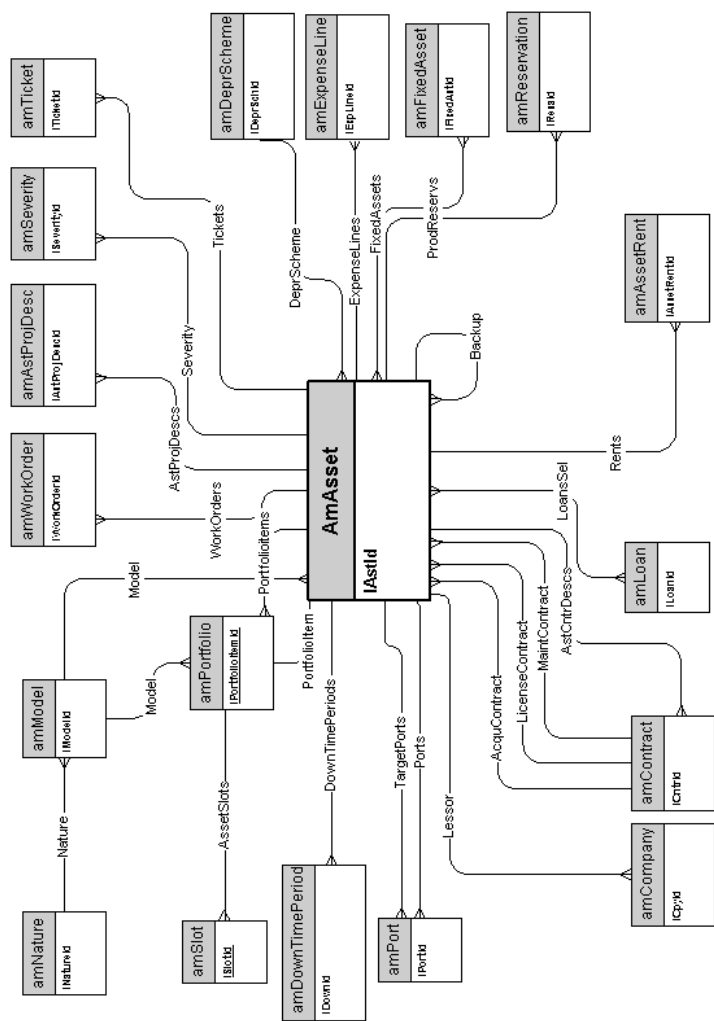
- [モデル](#) [[参考文献0](#)]
- [ポートフォリオ品目](#) [[参考文献1](#)]
- [資産](#) [[参考文献2](#)]
- [調達循環にリンクされた資産](#) [[参考文献3](#)]
- [コンピュータ](#) [[参考文献4](#)]
- [電話機](#) [[参考文献5](#)]
- [ポートと接続](#) [[参考文献6](#)]



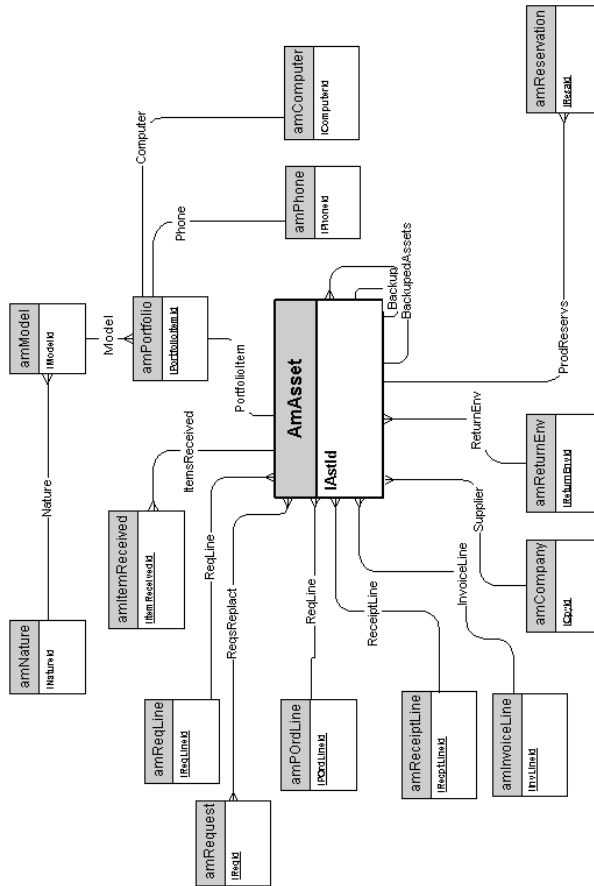
# ポートフォリオ品目



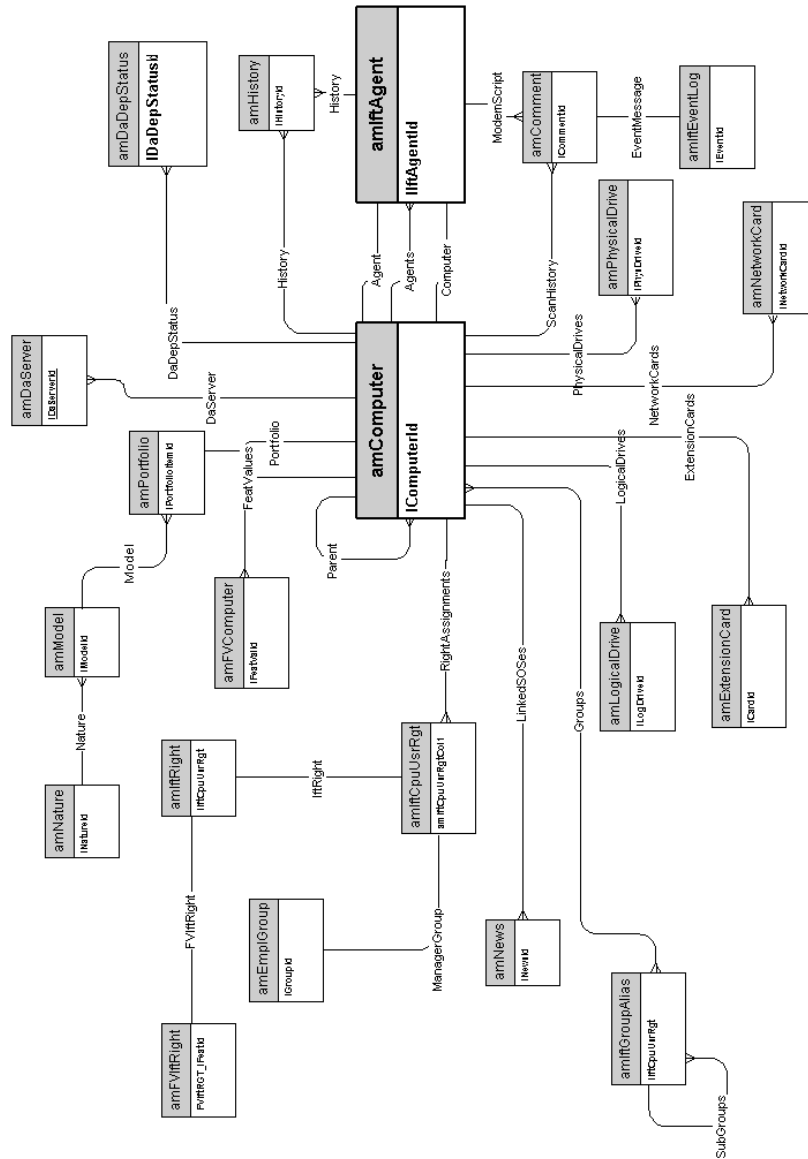
# 資産



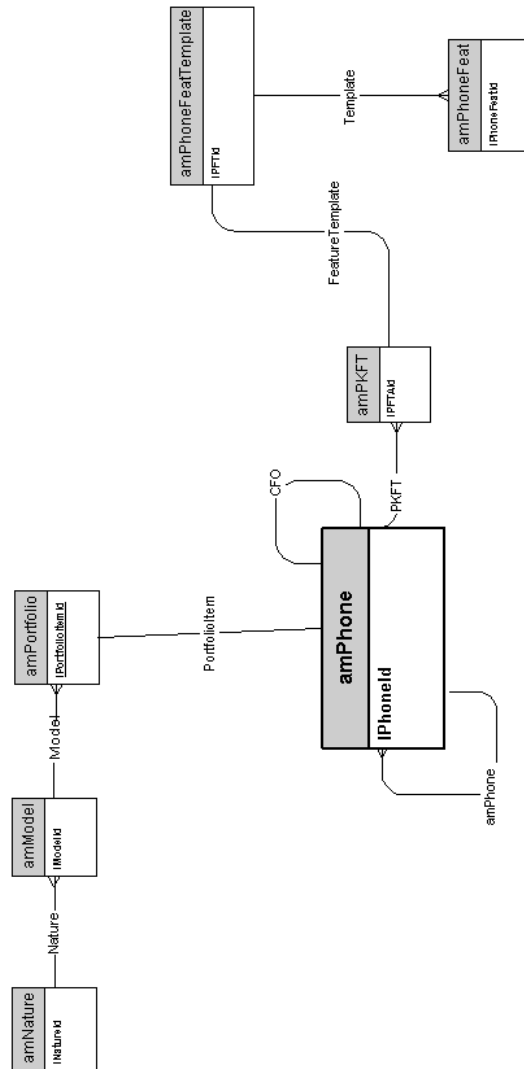
# 調達循環にリンクされた資産



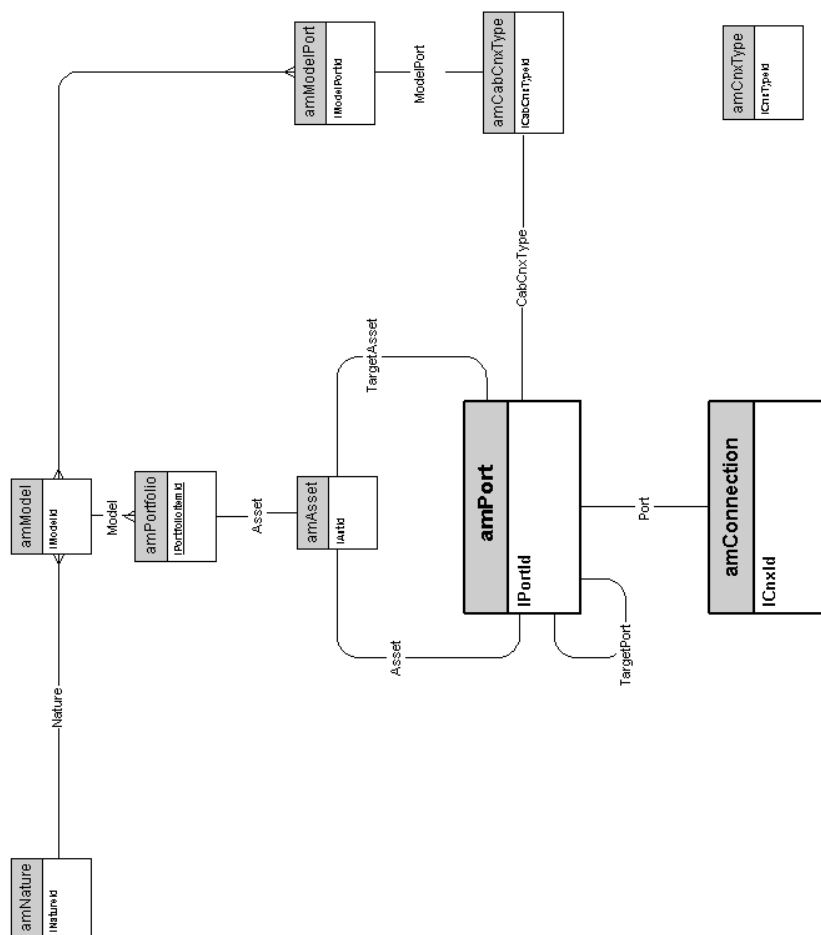
# コンピュータ



## 電話機



# ポートと接続







## 2 | 調達循環

この章では次の物理データモデルのダイアグラムを示します。

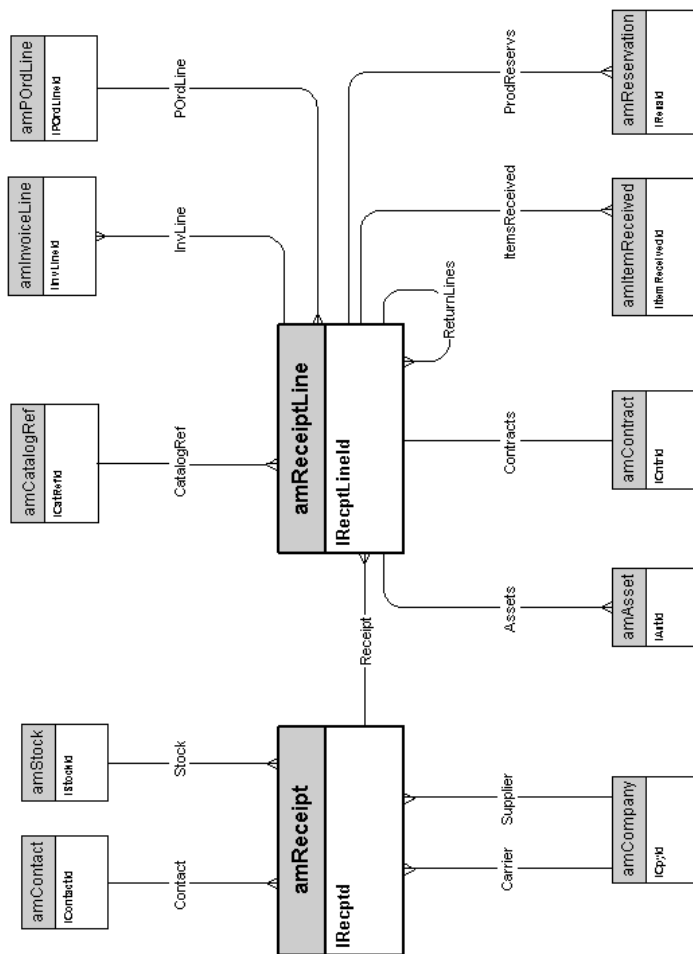
- 調達循環 [[修献8](#)]
- 購入依頼 [[修献9](#)]
- 発注 [[修献0](#)]
- 受付 [[修献1](#)]
- 請求書 [[修献2](#)]
- 返却予定資産 [[修献3](#)]





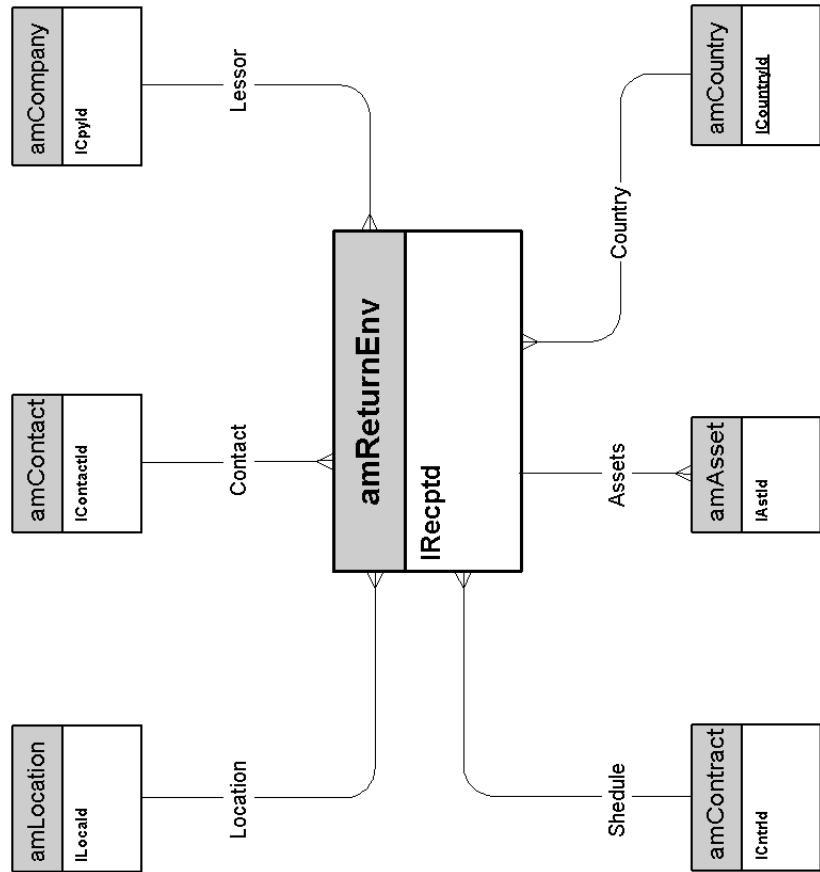


## 受付





# 返却予定資産









# 3 | 契約

この章では次の物理データモデルのダイアグラムを示します。

- 契約 [修版6]



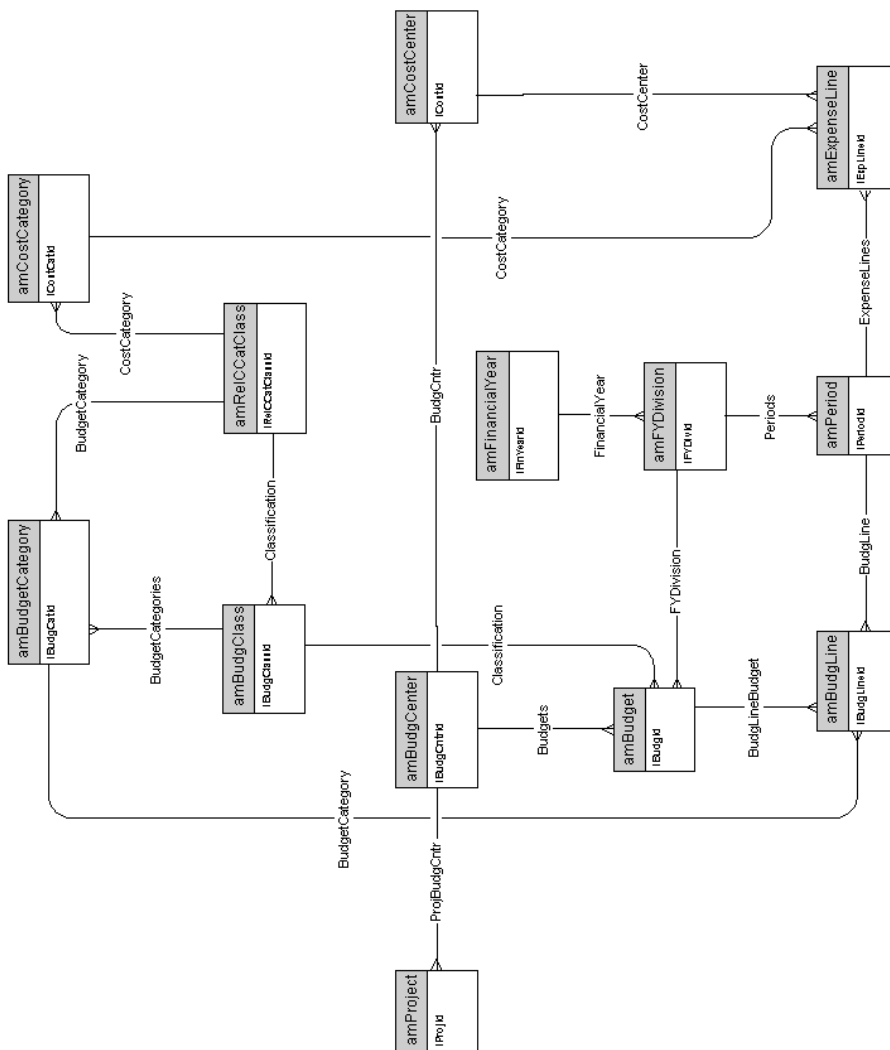


# 4 | ファイナンス

この章では次の物理データモデルのダイアグラムを示します。

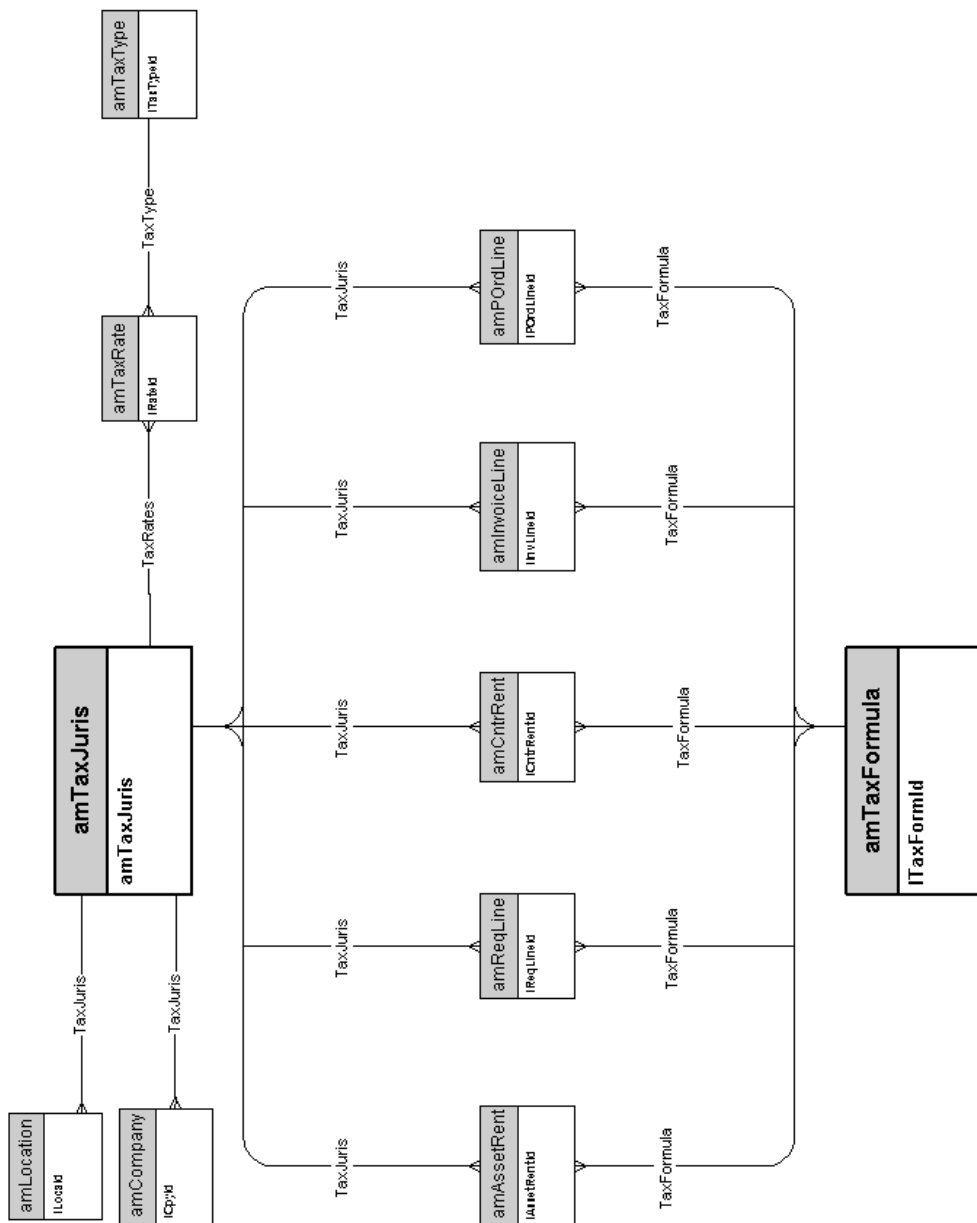
- 予算と経費 [修 8]
- 経費付替え [修 9]
- 税金 [修 0]

# 予算と経費





# 税金



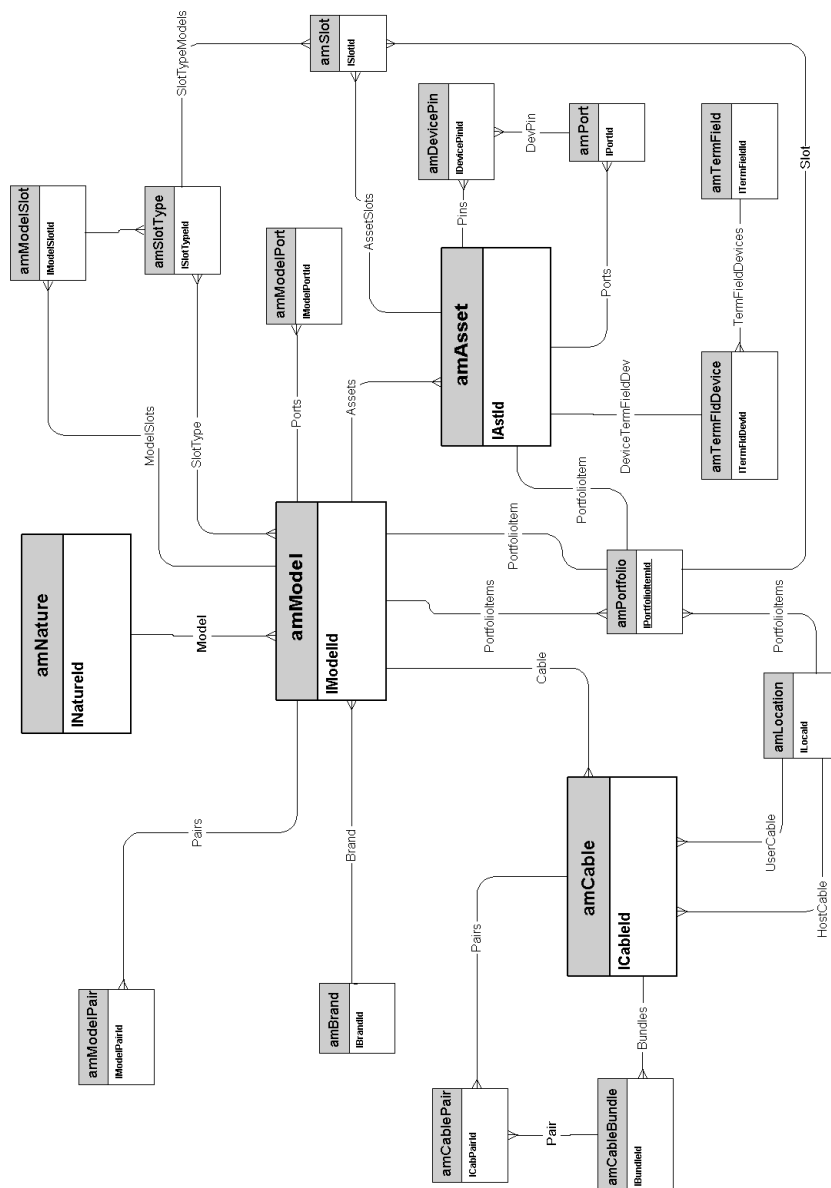


# 5 | ケーブル

この章では次の物理データモデルのダイアグラムを示します。

- ケーブルとケーブルデバイス [[修 2](#)]
- カラーコード [[修 3](#)]
- ラベル付け規則 [[修 4](#)]
- ペア / 導線のタイプ [[修 5](#)]
- ケーブルの用途 [[修 6](#)]
- スロット [[修 7](#)]
- トポロジ [[修 8](#)]
- トポロジグループ [[修 9](#)]
- 成端場所設定 [[修 10](#)]
- ケーブルとケーブルデバイス [[修 2](#)]

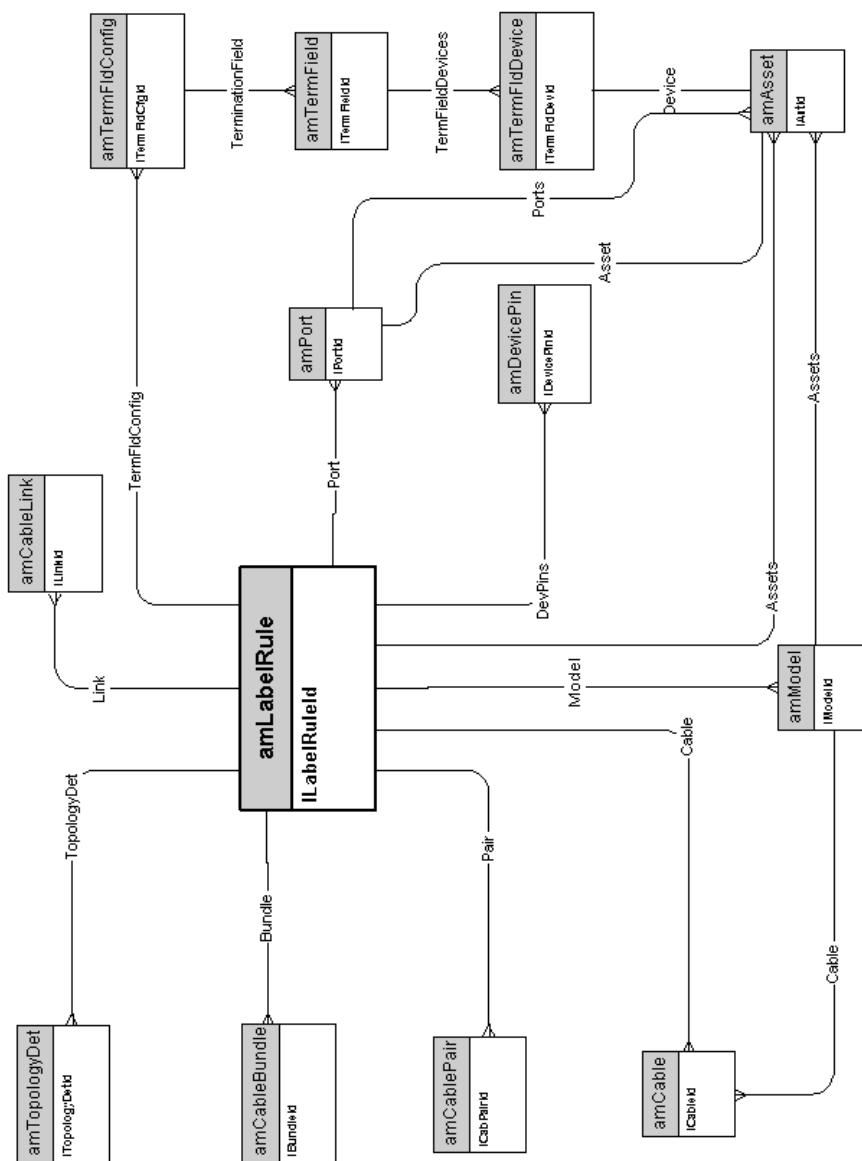
# ケーブルとケーブルデバイス



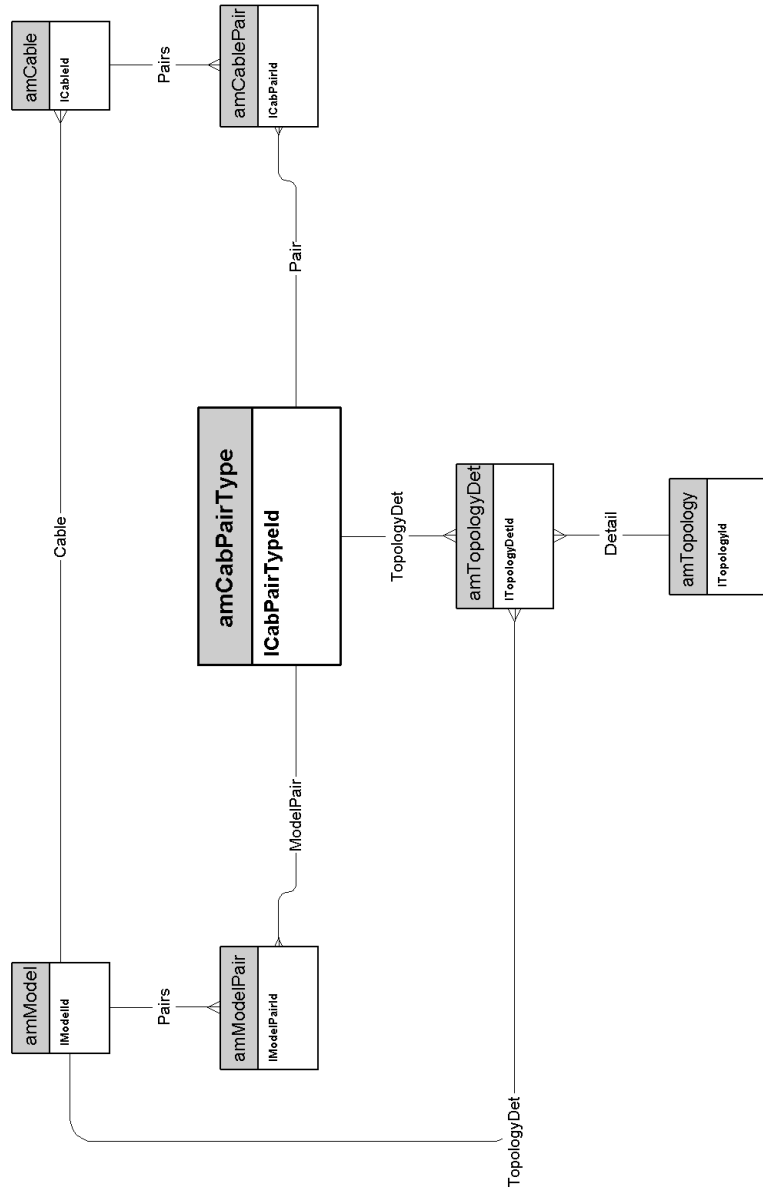




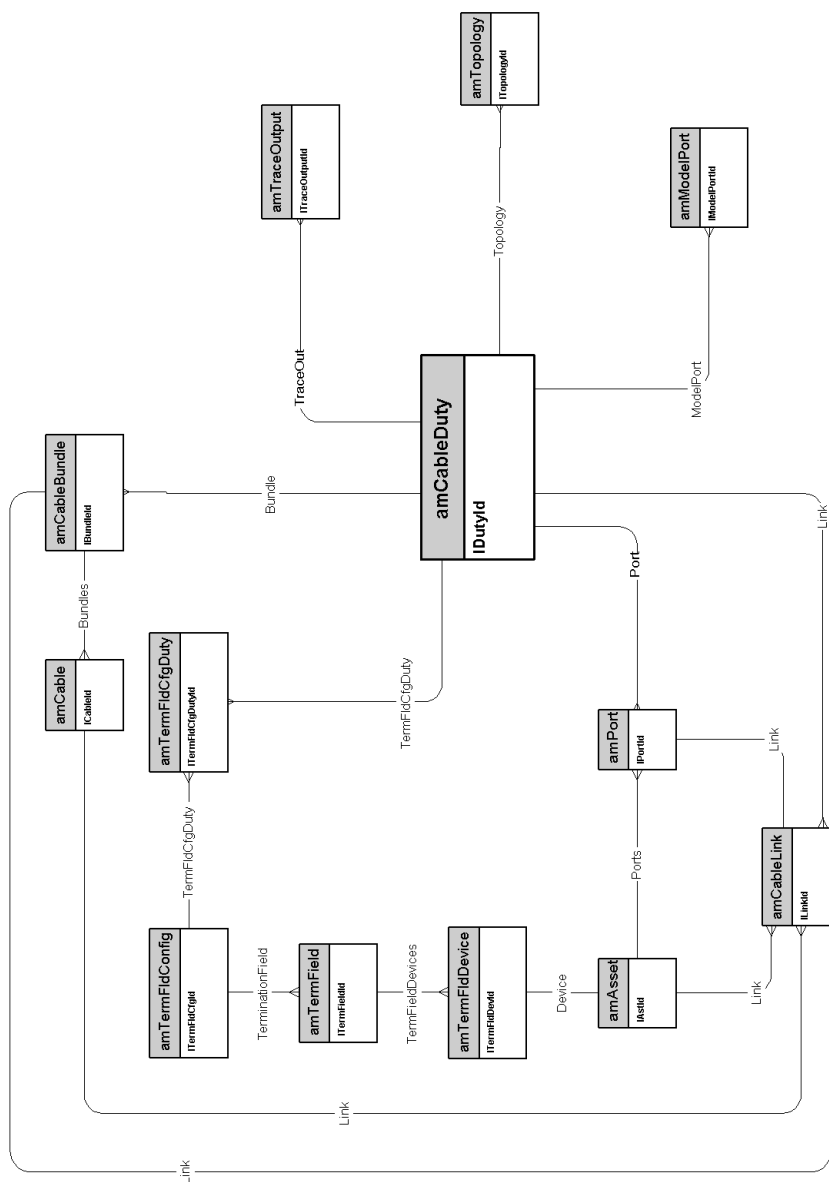
# ラベル付け規則



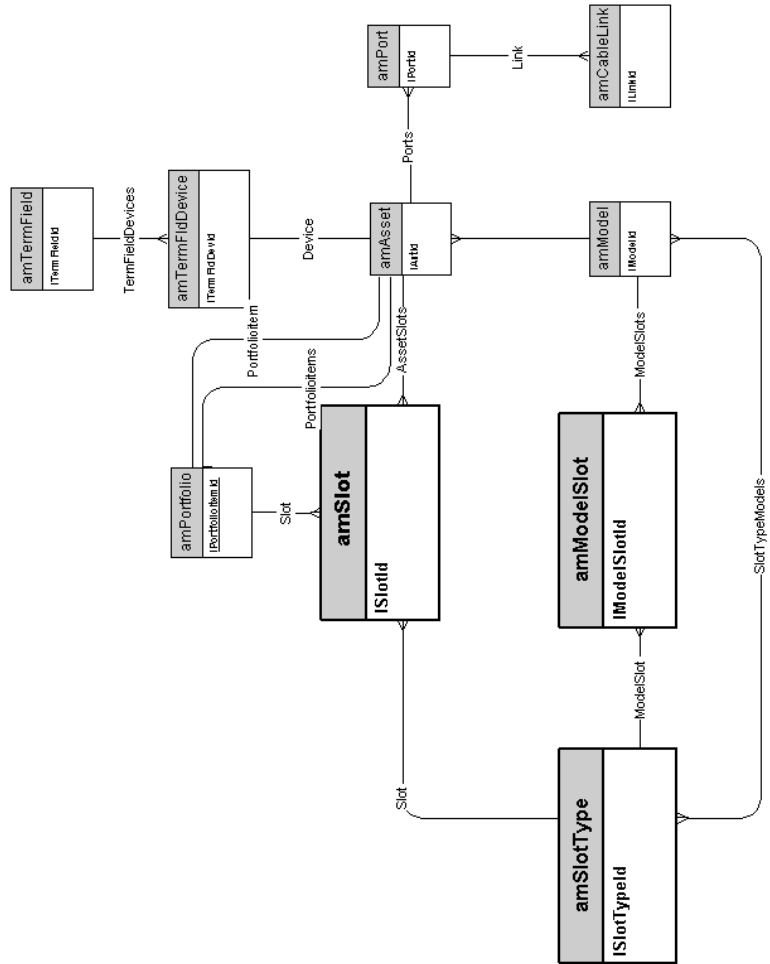
# ペア / 導線のタイプ



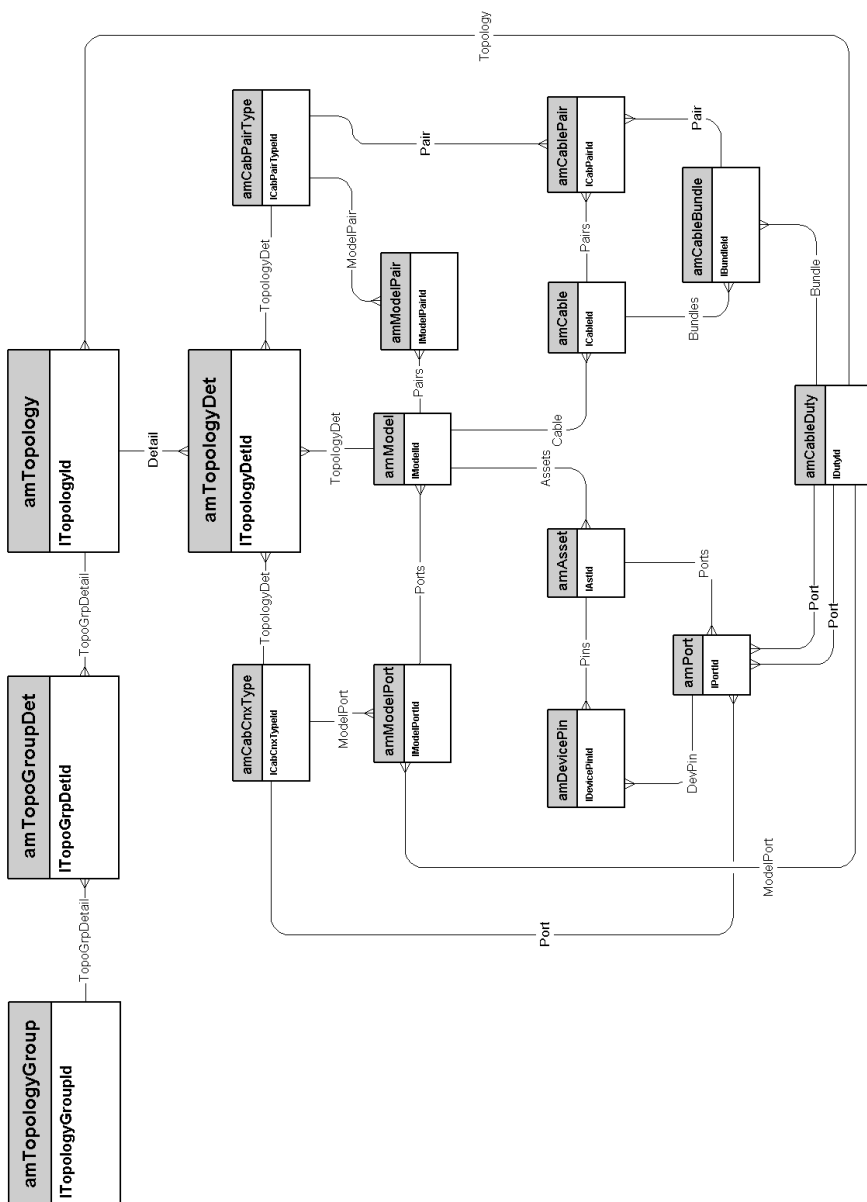
# ケーブルの用途



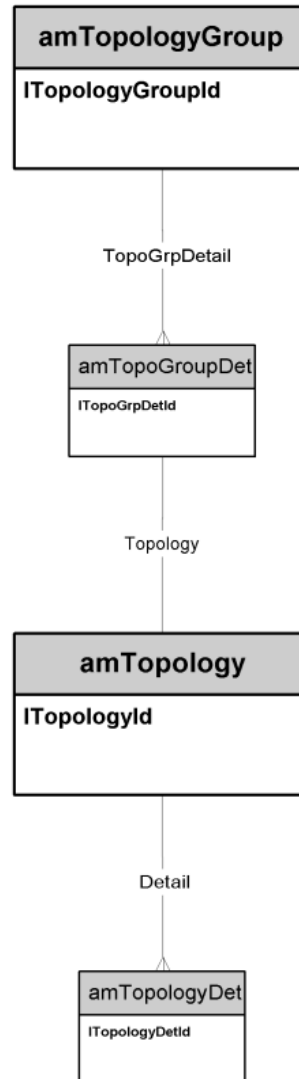
# スロット



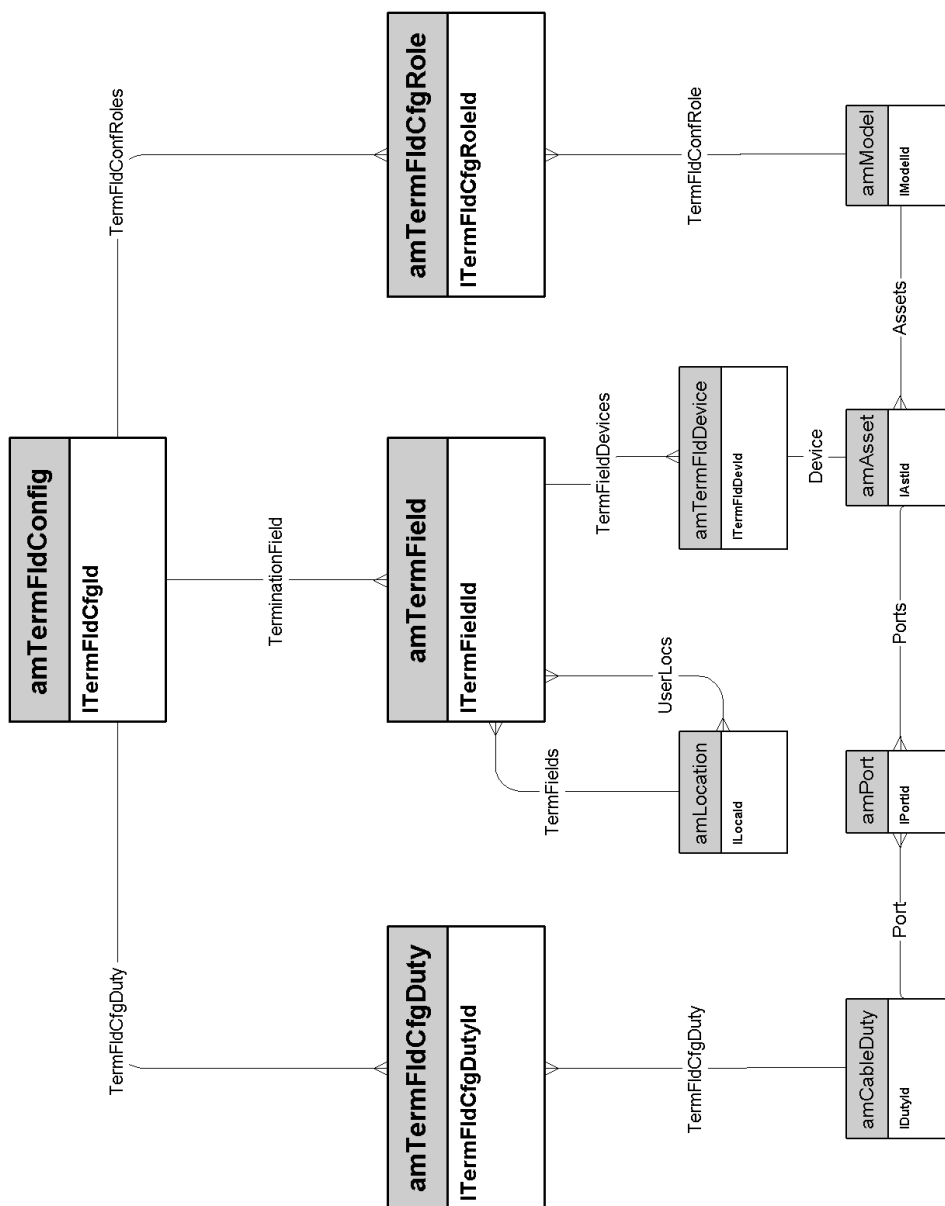
# トポロジ



# トポロジグループ

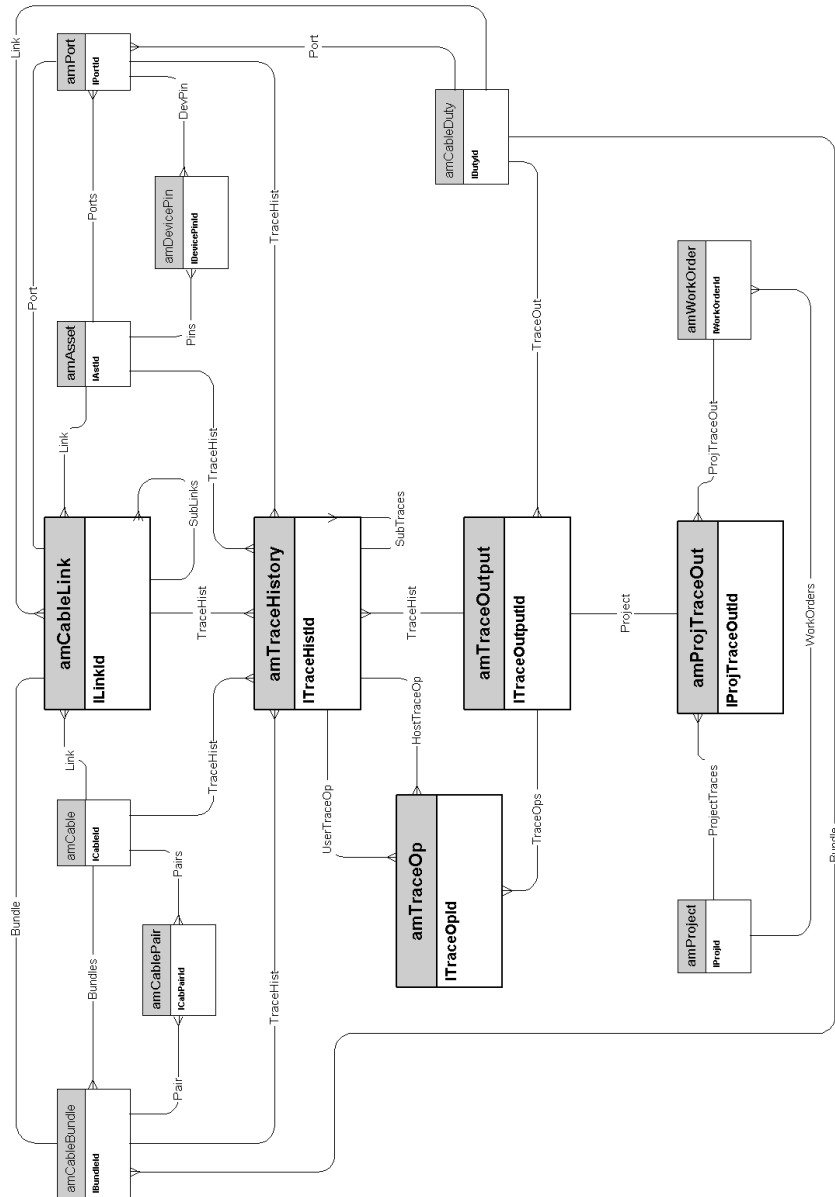


# 成端場所設定





# ケーブルリンク







# 6 | 管理

この章では次の物理データモデルのダイアグラムを示します。

- [データベースへのアクセス](#) [[参考文献4](#)]

# データベースへのアクセス

